

# 愛の窓

題字 宮下正弘

ご自由にお持ちください

No.11  
2013.1



## TOPICS

- 秋田県ドクターヘリ1年生  
救命救急センター長 藤田康雄
- 看護を学ぶためネパールから秋田へ

## CONTENTS

- ほうれん草の納豆和え ~簡単おススメレシピ~
- 点眼薬Q&A② ~知っておきたい薬の知識~
- 活動報告・イベントのお知らせ

# 秋田県ドクターヘリ 1年生

救命救急センター長

藤田 康雄

## 「コード・ブルー」で 実際に使われた機体

平成24年1月23日にドクターヘリの運航が始まり、もうすぐ1年が経とうとしています。当初はMD902(登録番号JA6790)というドラマ「コード・ブルー」で使用されていた実際の機体で運用が開始されましたが、7月28日に川崎重工製のBK117C2へ変更となりました。

## 6人乗りの新しい機体

変更後の機体は機内が広く、活動が容易になり、搭乗人員も1名多く確保できます。搭乗人員は医師1名、看護師1名、パイロットと整備士各1名で、時に研修生が1名追加されます。研修生は今後フライトスタッフを目指す医師・看護師たちです。BK117では、さらにもう一つ座席があり、必要に応じてご家族が搭乗します。これは病院搬送後の処置をスムーズに行うためです。



手前の機体がMD902、奥の機体がBK117C2。  
当院のヘリポートに2機のヘリコプターが並んだ珍しい写真です。

## 医療スタッフを 置き去りにして帰ることも…

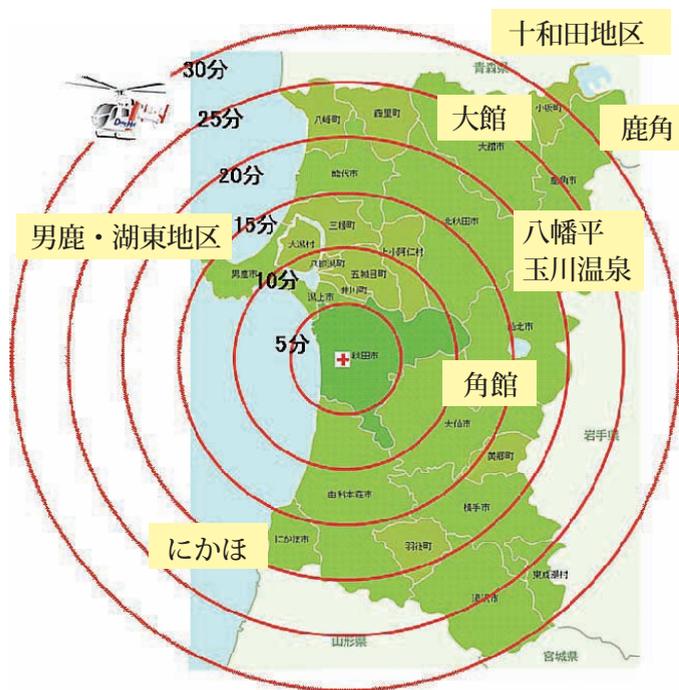
ドクターヘリの待機時刻は、午前8時30分から午後5時30分(または日没の30分前のいずれか早い方)です。日没までに病院へ戻れない時間帯の出動だと、医師・看護師は現場に置き去り(通称“ドボン”)になってしまいます。その際は現場へ医師を派遣することが目的となるので、医師・看護師は救急車で処置を行いながら病院へ患者を搬送します。秋田市内の病院なら良いのですが、別の地域となると、そこから自力で帰ることになります。これまでに弘前から1回、鹿角から2回電車で帰ってきました。

## 1年目の運航実績

運航当初は10~20件/月の出動でしたが、8月以降は20件/月を超えるようになってきています。12月31日時点での出動件数は154件(要請数199件)です。

## ドクターヘリの有意義な活用

病院間の搬送では、大館から弘前大学までの搬送と、県北各地から秋田市内までの搬送を行っています。現場出動では男鹿・湖東地区や角館、にかほが多くなっています。他にはこれまでに玉川温泉や八幡平、十和田地区へも出動しました。特に玉川温泉や八幡平では、最も近い医療施設まで救急車で1時間を要しますが、ドクターヘリは基地病院から現場まで20分、往復でも40分で対応することができるので、この地域のドクターヘリ活動は大変有意義なものと言えます。



県土の広い秋田県でも、ドクターヘリでは約30分で全体をカバーできます。特に、病院の少ない地域や山間部の医療に役立っています。

# 看護を学ぶため ネパールから秋田へ

11月に行われた修了式に色鮮やかな民族衣装のサリー姿で参加したルシュナさん（左）とマニシャさん（右）

ネパールは北側を中国、南側をインドに挟まれた海のない国で、国民の多くが農民です。発展途上国で医療水準も日本ほど高くはありません。国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」第2540地区（秋田県）では、もともとネパールの食糧支援を行っていましたが、1983年、当院の院長が国際ロータリークラブの会員であったことがきっかけで、保健医療並びに公衆衛生

向上のための支援の一環として看護師の研修が始まりました。当院では現在までに30名以上のネパール人看護研修員を受け入れています。

今回研修に訪れたのはルシュナ・トウラダーさんとマニシャ・ブラジャパティさんという2人の女性看護師です。2人はネパールで3カ月間日本語を勉強して日本での研修に備えてきました。



## Q. 日本にはどのようなイメージを持っていましたか？

A. 日本は大きな国というイメージで、海を見るのを楽しみにしていました。以前から日本人は親切で温かな人たちというイメージがありましたが、実際に来日してからも当初のイメージが裏切られることはありませんでした。

## Q. 秋田赤十字病院の印象はいかがですか？

A. 手術室での研修が印象的でしたが、全体を通してとても実りある研修生活でした。どこのスタッフも仕事熱心で、特に看護師の熱意や医療サービスに感動しました。

## Q. 印象的だった患者さんとのエピソードを教えてください。

A. どの患者さんも親切にしてくれたので、とても仕事がしやすかったです。娘さんが外国で看護師をしているという高齢の患者さんがいらっしゃいましたが、その方には特に親切してもらい、「頑張って」と声をかけていただきました。秋田弁は分かりませんでしたが、スタッフに通訳してもらいながら私たちが簡単な日本語を覚えて触れ合いました。



## Q. 研修を通しての感想を聞かせてください。

A. 普段の業務に関するだけでなく、あらゆる分野の現場を見て回ることができて良かったです。私たちがより良い看護を提供できるようになりたいと思いました。

- 材料（1人分）
- ほうれん草 30g ●ささみ 15g（1/2本）
  - 納豆 30g（1パック）
  - 刻みのり 少々 ●麵つゆ 小さじ1杯

### ■作り方

- ① ほうれん草は茹でて、3cm くらいの長さに切る。
- ② ささみも茹でて、細かく割く。
- ③ 納豆と麵つゆを合わせ、それに①と②を入れて混ぜ合わせる。
- ④ ③を器に盛りつけて上に刻みのりをかける。

### One Point Advice

- ◆ほうれん草の代わりに小松菜やチンゲン菜を使うこともできます。
- ◆食材を細かくきざみ、ひき割り納豆で和えると飲み込みの悪い方も食べることができます。

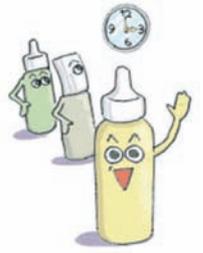


簡単  
おススメ  
レシピ

ほうれん草の納豆和え

## 知っておきたい薬の知識

# 点眼薬 Q&A ②



**Q** 寝る前に目薬を点眼してもいいのですか？

**A** 寝る直前に点眼してそのまま眠ってしまうのは避けてください。遅くとも寝る5分前までに点眼することをおすすめします。涙の流れは起きている時と比べて寝ている時に停滞しやすくなります。成分によっては停滞により眼への刺激を増強することがありますので注意してください。

**Q** 2種類以上の目薬を使用する場合はどうしたらよいですか？

**A** 基本的には5分以上の間隔を空けて点眼してください。より効果を期待するもの、刺激性の強いものは後に点眼の方が良いとされています。また「よく振ってください」と記載のある懸濁（けんたく）性のものは水に溶けにくく吸収されにくいいため、後から点眼すると効果的です。油性点眼および眼軟膏は、水性の点眼剤をはじくので最後に点眼・塗布してください。

## イベントのお知らせ

### ロビーコンサート

当院では毎月1回程度、1階赤十字プラザにてロビーコンサートを開催しております。日程などは随時ホームページでお知らせしておりますので、どうぞお越しください。

### 楽しいきクラブ

楽しいきクラブでは今年も5月に春の野外活動を開催します。他にもストレッチやアート、健康生活支援など、楽しくためになる講習会を企画しております。詳しくは保健指導係へお尋ねください。



お申込み・お問い合わせ先

秋田赤十字病院 健康増進センター 保健指導係  
Tel. 018-829-5060 (直通：平日 13:30～17:00)  
Fax. 018-829-5014

## 活動報告

### 秋田市大森山動物園園長による講演会『ゾウと男の子』



患者さんと地域の皆さん向けに病院を開放して講演会を開催しました。大森山動物園・小松園長をお招きし、医療職とは異なる観点から「命」「生きること」をテーマに、動物や動物園を通して小松園長が感じ、考え、思うことをエピソードを交えてお話しいただきました。

2012.8.31 秋田赤十字病院



小松園長

### 秋田赤十字病院市民公開講座 ―がん治療の最前線5―

一般市民のみなさまを対象に、がんに対する正しい知識の普及を目的とした講演会を開催しました。5回目となる今回は悪性リンパ腫や泌尿器がん、子宮頸がんについて当院医師が講演し、当日は111名のみなさまに足を運んでいただきました。

2012.12.1 秋田県総合保健センター



## ■ 病院からのお知らせ

外来受付時間 午前8時から午前11時30分まで (科ごとに若干異なる場合があります。)  
なお、外来診療担当一覧は、1階広報ラックコーナーにございます。  
休診日 毎週土・日曜日、祝日、年末年始 (12/29～1/3) 創立記念日 (7/1)  
入院のご案内時間 正午 (12:00) から午後8時まで

## ■ 秋田赤十字病院の理念

私たちは、人道・博愛の精神に基づき、患者の皆様が「来て安心」・「受けて満足」・「確かな信頼」を得られる心の通った病院を目指します。



身体が不自由な方のための  
専用駐車場に一般の  
駐車はご遠慮ください。



敷地内全面禁煙に  
ご協力ください。

広報誌 **愛の窓** 平成25年1月23日発行  
発行人 木村 滋  
〒010-1495 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢 222-1  
TEL.018-829-5000 (代表) FAX.018-829-5255  
<http://www.akita-med.jrc.or.jp>

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

